

2003年6月1日～2019年4月30日の間に福山市民病院において肝胆膵外科の治療を受けられた方へ 「膵癌術後オリゴ転移の予後解析」

へご協力をお願い—

研究機関名	福山市民病院	外科		
研究責任者	福山市民病院	外科	大島 圭一郎	
共同研究者	福山市民病院	外科	科長	日置 勝義
	福山市民病院	外科	統括科長	大野 聡
	福山市民病院	外科	副院長	貞森 裕

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

通常型膵癌術後の遠隔転移に対する標準治療は化学療法ですが、オリゴ転移（術後再発転移巣が3個以下の少数転移）切除後、長期生存例の報告が散見され、膵癌診療ガイドライン2019年版では、肺転移に対する切除が弱い推奨となっています。本研究では、当科における膵癌術後オリゴ転移症例を抽出し、局所療法の妥当性について検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

膵癌術後の遠隔転移に対する治療法を確立することが考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2003年1月1日～2019年4月30日の間に福山市民病院外科において膵癌根治手術を受けられた方で、オリゴ転移再発患者さんを対象とします。

2) 研究期間

2019年10月28日（当院倫理委員会承認日）～ 2020年3月31日

3) 研究方法

2003年1月1日～2019年4月30日の間に福山市民病院外科において対象の方に関して、研究者が診療情報をもとに上記手術のデータを選び、その成績を分析します。

4) 使用する試料

血液検査データを使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、疾患名、腫瘍の進行度
- ・ 手術術式・術後再発転移に対する治療内容と予後

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院のパソコン内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年2月29日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 外科 大島 圭一郎
電話：084-941-5151